

三重津海軍所跡

Vol.4



2015年にユネスコの世界遺産リストに登録された、23の構成資産から成る「明治日本の産業革命遺産」。おおまかに「製鉄・製鋼」「造船」「石炭産業」の3分野に分けられるが、製鉄と造船で転機となったのが、佐賀藩における鉄製大砲鋳造への頗るなき挑戦と三重津海軍所での実用蒸気船の建造である。茂木健一郎さんとダグラス・ウェバーさんが、それぞれの立場から三重津海軍所跡の世界遺産としての価値を探った。

対談に先駆けて…



ダグラス・ウェバー
アメリカ・カリフォルニア出身。スカラシップで佐賀藩に赴き、その後留学生として東京大蔵へ。卒業後、奨学金を得て九州大学へ留学した後、帰国。アッパー社のプロダクトデザイナーとして、日本で活動。現在は日本株式会社KAMAKURA COFFEEなどを運営。

茂木 健一郎
翻訳者。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院研究科専門職課程を修了。その後、獨逸、アッパー社のプロダクトデザイナーとして、日本で活動。現在は日本株式会社KAMAKURA COFFEEなどを運営。

三重津海軍所跡を 未来へ語り継いでいく

スペシャル対談 第3弾

茂木氏 今日見学してみて、様々な展示の仕方をしていて、実際には人が働いていたといふ感じで想像する楽しみかったです。

ウエバー氏 ドームシアターで、歴史資料館とかこうした施設でも話すとき、VRの映像の作りこみが細かく驚きました。映像が360度で見えるだけなく、当時の人々の存在を想像させる教材も重要なんですね。その時見ることができたんだけど、代に入り浸つているような洋式船の船底の修理をして、体験ができた。知らない間に、いろいろ、砲術の訓練をしたり、いう意欲が湧いてきますか

茂木氏 前回も話したけど、茂木はよくいたけど、V-Rの映像の作りこみが細かく驚いたんだなと感心しました。

ウエバー氏 まさに、見る人に実事を使いつぶやく感じた。それで、自分が想像できるだけなく、当時の人々の存在を想像させる教材も重要なんですね。その時見ることができたんだけど、代に入り浸つているような洋式船の船底の修理をして、体験ができた。知らない間に、砲術の訓練をしたり、いう意欲が湧いてきますか

ウエバー氏 今回初めて三重津海軍所跡を訪れてみて、じたんだけば、佐賀藩の藩力…、ここで語られてる造船や製鉄のことだけでなくて、医学や政治のシンポジウムなど開催してました。だから三重津海軍所跡に行つて日本で最初に予防接種を導入したことを見つめただけで、だから三重津

茂木氏 今日は、佐賀藩の歴史資料館とかこうした施設でも話すとき、VRの映像の作りこみが細かく驚いたんだなと感心しました。

ウエバー氏 まさに、見る人に実事を使いつぶやく感じた。それで、自分が想像できるだけなく、当時の人々の存在を想像させる教材も重要なんですね。その時見ることができたんだけど、代に入り浸つているような洋式船の船底の修理をして、体験ができた。知らない間に、砲術の訓練をしたり、いう意欲が湧いてきますか

ウエバー氏 今回初めて三重津海軍所跡を訪れてみて、じたんだけば、佐賀藩の藩力…、ここで語られてる造船や製鉄のことだけでなくて、医学や政治のシンポジウムなど開催してました。だから三重津海軍所跡に行つて日本で最初に予防接種を導入したことを見つめただけで、だから三重津



「みえドームシアター」で映像を見る二人

三重津海軍所跡の外郭から知ろうと、二人は記念館1階に設置された「みえドームシアター」へ。直径6メートルの大きなドーム型シアターへ。直徑6メートルの大きさなど一目瞭然。映像で、幕末期の三重津へとタイムスリップしたところにいると、プラネタリウムのよう視界一杯に広がる。創設当時の三重津海軍所を再現した映像。臨場感あふれる映像で、幕末期の三重津へとタイムスリップしたところから余計興味が持てますよね」と茂木さん。ウェバーさんは、模型を作られたドライドックの模型を真剣な眼差しで見ながら、案内役の解説員に実際にどのようないくつかの解説を手順で作つ



「みえSCOPE」を装着して3階テラスから三重津海軍所跡を眺める(上)公園を実際につきながら見るボタン(下)



ドライドックの解説に耳を傾ける二人

ていたのか尋ねる。「この丸太を組み合わせた製法は、佐賀城丸歴史館で見た床下の構造に似ていますね。日本の在庫で使ったというの、がよくわかります」と納得した様子。三重津の土壤が水を多く含んだ湿地地で、さらに有明海上に繋がる早津江川の水流が泥を多く流入するごとに、150年以上もドライドックの木材が腐敗せずに残ったのだ

佐賀藩の技術者たちが作り上げたドライドックと單艦が眼前に浮かび上がっていた。

「みえSCOPE」を装着して3階テラスから三重津海軍所跡を眺める(上)公園を実際につきながら見るボタン(下)

2020

No.150

九州 王国

九州発、人、モノ、文化、そして経済

Kyushu Kingdom

●特集

日本誕生前夜、
神代の霧島・
大隅半島をゆく

鹿児島県霧島市からつながる大隅半島には、神話や古代の伝承が多く残され、それにまつわる神社や陵といったゆかりの地も点在している。その足跡をたずねると、古代日本の誕生を予見させるようなエピソードに出会うことも。神々の時代と、神秘的な空気が漂つこの地域のパワースポットを旅してみよう。

●特集2

キヤラメルの國の
王様たち

明治以降、砂糖をたっぷり使った西洋菓子の登場は、日本人の「おやつ」を激変させた。当時日本4大キヤラメルメーカーと呼ばれた森永製菓・江崎クリコ、明治製菓、新高製菓のうち、3つの企業の創業者が佐賀出身者であることは意外と知られていない。キヤラメル王たちの物語を紐解く。

「マイフェイバリット

九州王国

「新まほろばの郷から」

島谷弘幸(九州国立博物館館長)

「マエキヨ、九州ダイアリー」

前川清